まちづくりの進め方（協働の実践）

～厚田区・浜益区の地域資源の活用～

株式会社KITABA　常務取締役　内匠　庸介

石狩市のまちづくり（第5期石狩市総合計画より）

いしかりのこれからのまちづくり

30年後のまちのイメージ

まちづくりのミッション

30年後の『まちの持続』

「このまちに住み続けたい」
「このまちに住みたい」と思える
魅力あるまちであり続ける

「住み続けたいまち・住みたいまち」は、“まち”のあるべき姿と、そのまちで活動し、そのまちをつくっていく“ひと”のありたい姿や意識があるまちです。

いきいきとそこで暮らす市民によって魅力あるまちがつくられ、また、市民がまちづくりに深くかかわっていく過程において、いしかりに対する誇りや愛着が高まっていくまち、それがさらにまちの魅力の向上につながっていく、そんなまちを目指します。

※1 コミュニティビジネス：市民等が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法により解決し、その活動の利益を地域に還元するという事業のこと
※2 低炭素：地球温暖化の原因とされる二酸化炭素の排出を、現状の産業構造やライフスタイルを変えることで低く抑えること
※3 ライフスタイル：生活の様式・営み方。また、生観・価値観・習慣などを含めた生き方

目指すまちの姿（将来像）

創造	文化、交流、創造するまち	歴史・文化が市民に脈々と受け継がれ、地域への愛着につながり、市民が新しい産業や魅力、価値を創造するまちを目指します。
絆	絆や人のつながりを大切にするまち	地域で暮らすいろんな世代の人が、互いに支えあいながら、みんなが安心して幸せに暮らすことができる絆や人のつながりを大切にするまちを目指します。
環境	幸せに暮らす環境があるまち	優れた資源を有効に活用し、市民の暮らし・学び、産業、低炭素※2などの豊かなライフスタイル※3や多様性を支える環境があるまちを目指します。

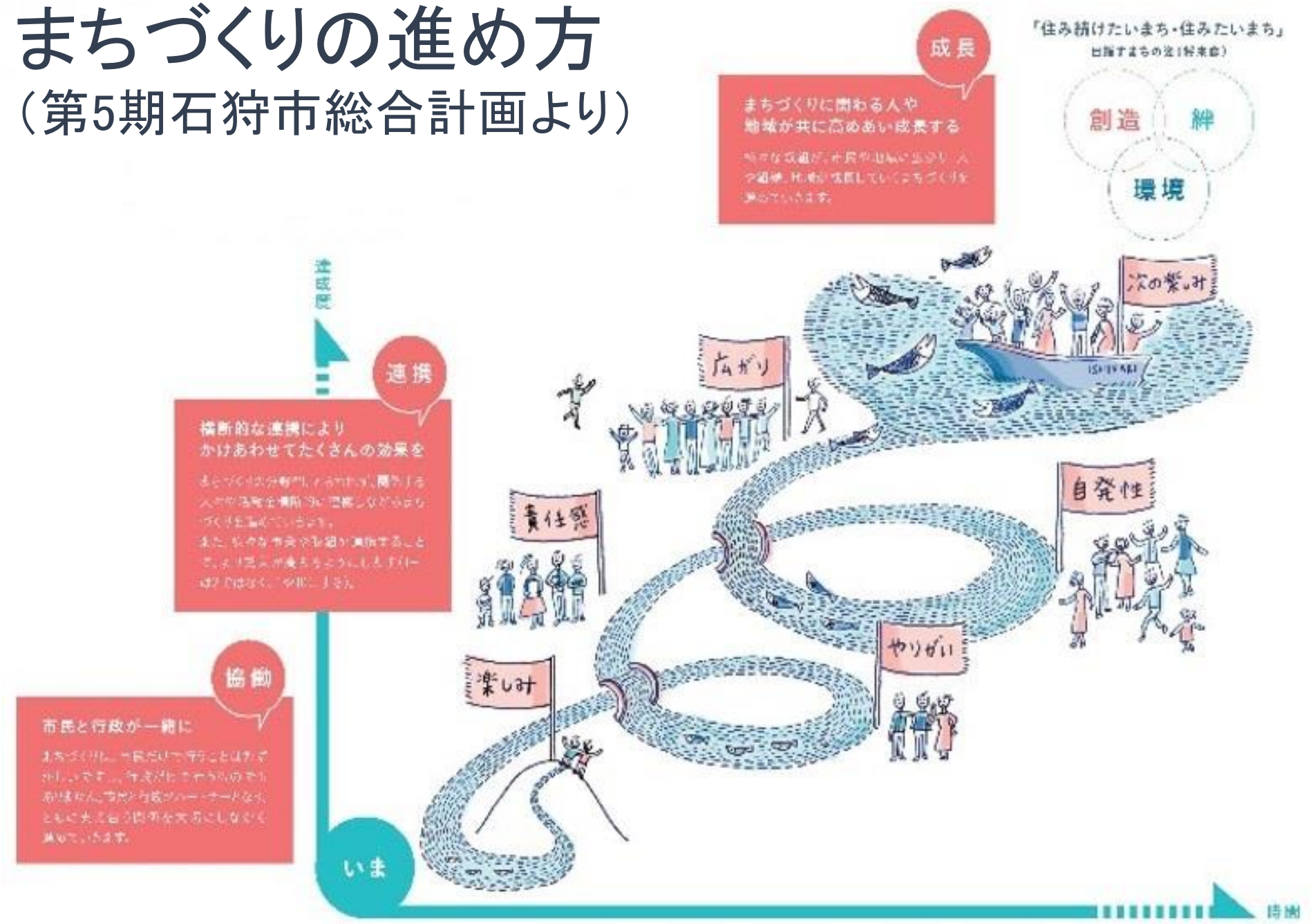
都市像が実現されることによって石狩PRIDEに！
市民がまちづくりに関わることで魅力あるまちに！

石狩PRIDE（プライド）

いしかりへの愛着、誇り、そこでの幸せな暮らし

目指すまちの姿（将来像）の実現に向けて、市民とともにまちづくりを進めることで育まれていく愛着や誇り（石狩PRIDE）を持った市民の姿です。市民が、まちの自然や文化、魅力に気づき、愛着や誇りを持って暮らしている姿がたくさんあるまちを目指します。

まちづくりの進め方
（第5期石狩市総合計画より）



地域資源の“活用”って？

つなげる

石狩湾新港、
自然エネルギー、
地域産業
新しい
価値を発見
安全でおいしい
農水産物
視察見学会など
で市民が知る
つなげる
市民がいしかりのたくさんの
資源を再認識します
様々な資源を
つなげます
1
見る・知る
いしかりの
資源を発掘
2
つなげる・つながる
繋げることで
新たな価値を発見
いしかりの資源からモノやしごとを創り出す
4
まちが元気になる
まちも人も地域経済も
元気になる
3
磨く
ビジネス化・
ブランド化を図る
さらなる広がり
創意工夫
商品のPR や市民による買い支えにより、
地域経済が活性化し、雇用も安定して、
まちが元気になっていきます
新たな価値、
仕事や雇用を創造します
安定した雇用
商品開発を
進めます
広がり
新たな産業や雇用が
つくられています

つなげる・かけあわせる

例えば、、

「もの」では

電話の携帯

携帯電話 × メール機能

携帯電話 メール機能 カメラ インターネット

携帯電話という単体の機能で十分だった時代

技術の進歩
効率化

携帯電話とメール機能の合体

価値観の多様化
ニーズの多様化

電話、メール、カメラ、ネット、SNSなど複数の機能のコンプレックス、クロスオーバー

「商店街」では

精肉店
八百屋

精肉店や八百屋などが集積し、商店街を形成

都市化
合理化

生鮮 × 飲食 × アミューズメント

生鮮や飲食、日用品やアミューズメントが融合したSC

コミュニティ崩壊
少子高齢化

生鮮 × 安否確認 × 配達 × 憩い

商店はものを売るだけでなく、多様な役割り、機能やサービスの複合化が求められる（他の事業者との連携やネットワーク化）。

「まち」では

長屋
住・職・店

職・住が一体だった
向こう三軒両隣のおつきあい、長屋・地域のコミュニティ

大型店　住宅地　働く場

職・住が分離し、
効率化を求め、
市街地が拡大

市街地拡大
分節型社会
郊外化

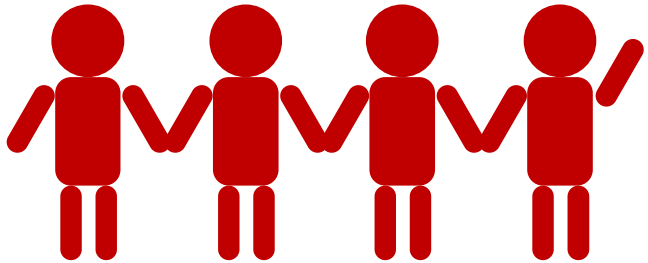
空洞化
中心街の衰退
少子高齢化

まちなか居住　商店
憩い　公共施設

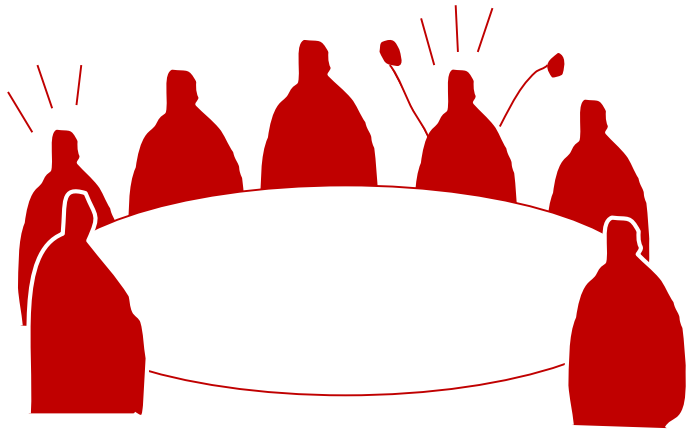
職・住・商業・憩い・公共がコンパクトになり、様々な機能の複合化、多様なセクターとの連携やネットワークが必要

つなげる・かけあわせる

- つなげて新しい価値を
- 市民の誇りや自慢に
- 暮らしを魅力的に



ワークショップの進め方

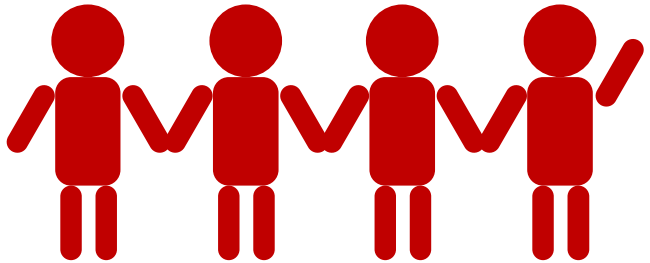


本日のテーマ

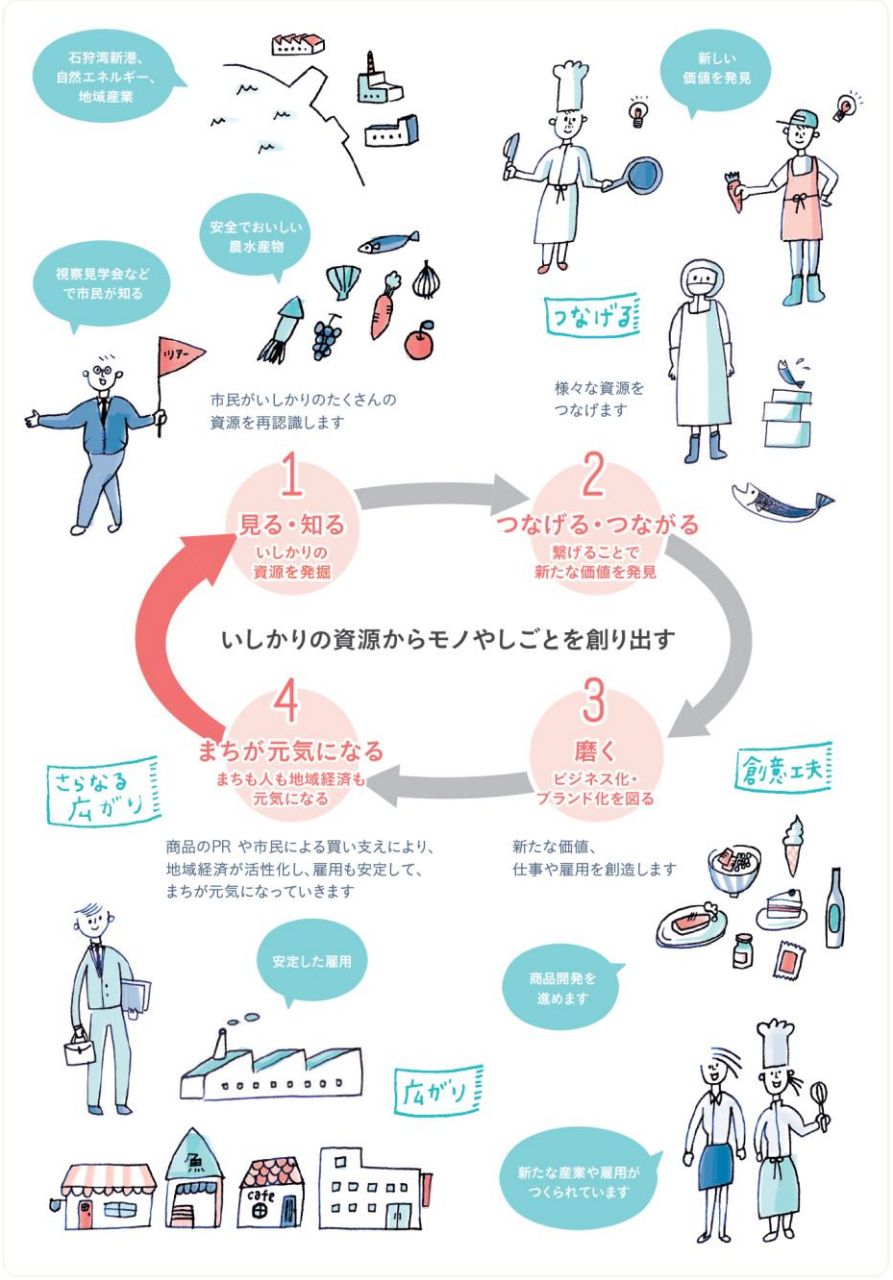
厚田区・浜益区の地域資源の活用

つなげる・かけあわせる

- つなげて新しい価値を
- 市民の誇りや自慢に
- 暮らしを魅力的に



戦略目標3　いしかりの資源かモノやしごとを作り出す



戦略目標4　いろんないしかりの顔をつくる

STEP1

現地を見て感じたまちの宝（地域資源）を出しあいましょう

- 現地で見たもの、感じたこと
- 日頃から思っている大切にしたい資源
- 自分が好きな資源

STEP2

まちの宝を活用するアイデア（つなげ方）を考えましょう

- お宝の魅力をさらに高めるためには
- かけあわせることで、より魅力的にするには

例えば、、

それぞれの地域資源の魅力や背景について物語等をつなげてストーリーとして

地域資源を活用するための方法（やること）をつなげる

地域資源を活用した協働のプロセス（サイクル）にあわせてつなげる

約束ごと

- 自分ごと（自分を主語に）
- 話は短めに（話しすぎ注意）
- 違ってて当たり前（否定しない）
- 話をつなげる（話を楽しむ）